

# 横浜市立左近山小学校

## 平成31年度 学力向上アクションプラン

### 1 中期学校経営方針

#### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

| 学校教育目標                                               | 教育課程全体で育成を目指す資質・能力                                 |
|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <p>夢がいっぱい 左近山の子</p> <p>～つながる学び つながる仲間 つながる地域・未来～</p> | <p>問題発見・解決能力</p> <p>共に支え合う力</p> <p>社会や未来とつながる力</p> |

#### (2) 中期取組目標

| 中期取組目標                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>夢がいっぱい 左近山の子 ～つながる学び つながる仲間 つながる地域・未来～</p>                                                                                                                                                                            |
| <p>知：自ら問題を見付け、見通しをもってよりよく解決する力を育てます。</p> <p>徳：自分を律する態度と人を思いやる優しさをもち、自他を大切にすることを育てます。</p> <p>体：規則正しい生活を心がけ、心身ともにたくましく生きる力を育てます。</p> <p>公：よりよい社会を創るために、地域とともに、自ら考え実践する力を育てます。</p> <p>関：多様性を尊重し、未来を見据えて、ともに生きていく力を育てます。</p> |

#### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

| 重点取組分野       | 具体的取組                                                                                                                                        |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生きて<br>はたらく知 | <p>①交流のあり方系統表を作成し、教室に掲示する。学習活動における交流場面での活用を通して思考力・判断力・表現力を高めていく。</p> <p>②重点研の研究テーマを「生き生きと語り合い、考えを広げ、まとめる子ども」とし、国語の交流場面を中心に確かな言語能力の育成を図る。</p> |
| 担当 研究・研修部    |                                                                                                                                              |

### 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

#### (1) 学習状況調査の結果

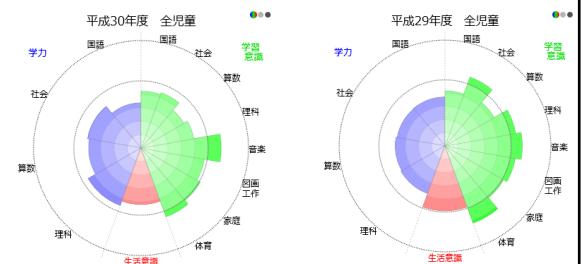
よい点としては、社会や理科の学力は少しだが、市平均に近づいてきている。「音楽：学習意識」は、市平均よりも大きく上回っている。また、「学校図書館へ行くことが好き」が市平均より8ポイント高い。「『横浜の時間』総合的な学習で学ぶことが好き」も5ポイント近く高い。これは、過去に重点研で総合的な学習を子どもたちが夢中でやってきたこと、スキルタイム、特別支援教室などの取組、理科や音楽の専科がどのクラスにもきめ細かく指導を行っていることなどが、少しずつではあるが成果をあげていると思われる。しかしながら、算数の学力については、学力層C・Dが6割近くを占めている学年もあり、深刻な状況である。全体としては、横浜市の平均を下回っている。スマートフォンやゲーム機を家庭で使用している時間が長く、家庭学習する時間が市の平均より不足していることも要因と考えられる。家庭でも反復学習を促し、学習内容を定着させることも必要である。一昨年度から年度初めに、学年懇談会でプリントを配付し、10分×学年（6年生なら60分）の学習への声かけを各家庭に呼びかけている。協力してくださる家庭もあるが、学力については、大きく二極化が進んでいる現状がある。

#### (2) 教科学習の状況

- 国語科：読む力が市の平均を下回っている。書く力、聞く力については、全体的に伸びてきて、市平均に近づいている。今後も辞書の活用、語彙の習得と活用、家庭学習やスキルタイムの内容、授業での言語活動などの取組に学年の系統性をもたせ、積み上げていく必要がある。今年度は、交流のあり方について重点的に検討していく。
- 算数科：技能、知識・理解、数学的な考え方、全ての観点において、ほとんどの問題が市平均を下回っている。特に、活用力を問う問題について、通過率が低い。学習意識は、市平均並みに高く、楽しく学習している様子が見取れる。今年度も意欲を維持できるような学習展開を心がけていく。また、昨年度同様、スキルタイムや宿題を充実させ、基礎基本の底上げを図っていく。その上で、自ら考える学習を多く取り入れ、活用力の向上を目指していく。
- 社会科：知識・理解においては、まち探検や社会科見学、出前授業など体験的に学習をした単元で正答率が高まっている。反対に、実体験との結びつきが感じにくいためか、学年が上がるほど正答率が下がる。思考・判断・表現は、市平均に比べて低くなりがちである。児童の疑問を大切に、体験的・活動的な学習を継続していく。
- 理科：実験に興味・関心をもって取り組むことができているため、技能は市の平均を上回っている。しかし、思考・表現が市平均を下回っており、事象を関連付けて考えたり、表現したりすることができていない。理科の学習で思考・表現する機会を増やしていくとともに、表現については国語科との関連を図っていく。

#### (3) 各学年の国語の学力の状況とその要因

- 2年 読む力に課題がある。→長文に慣れていない。
- 3年 問題を解くために必要な情報を抜き取ったり、選んだりすることができていない。  
→言葉の知識の不足は解消されてきたが、長文の問題を解く経験の不足。  
文の場面を適切に捉えることができず、求めるために必要となる情報の差異を吟味していない
- 4年 言葉に関する知識・理解が低い。→言葉への意識が低い。自分の考えをまとめる力が低い。
- 5年 考えたことを表現することが苦手→調べたことや考えたことを文章にまとめる経験の不足。
- 6年 言葉に関する知識・理解が低い。→問題を解く経験の不足。言葉への意識の低さ。



### 3 平成31年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

|        | 育成を目指す<br>具体化した資質・能力                                                                                                                                  | 具体的取組                                                                                                                                                                                            |                                  |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
|        |                                                                                                                                                       | 前期                                                                                                                                                                                               | 後期                               |
| 1年     | <p><b>問題発見・解決能力</b><br/>身近なものに興味・関心をもつ姿</p>                                                                                                           | <p><b>学校図書館の定期的かつ継続的な活用</b><br/>学校図書館を1年間週に1度定期的に利用し、本を読む機会を確保し、本に親しむ姿を目指す。</p> <p><b>プリント等による繰り返しの学習</b><br/>国語のひらがなや漢字の学習、算数のドリルプリント等に直しを含めて繰り返し取り組み、できた喜びを感じられるようにする。</p>                     | →                                |
| 2年     | <p>興味・関心をもったものに疑問をもつ姿</p> <p>疑問に思ったことを伝える姿</p>                                                                                                        | <p><b>本に親しむこと</b><br/>いろいろな種類の本に親しめるように、学習内容に合わせた本が身近にある環境をつくり、本を読む機会を増やしたり、読み聞かせをしたりして本に親しむ。</p> <p><b>日記を書く（表現する）こと・友達が書いた日記を読むこと</b><br/>日記の題材、言葉遣い、表現の仕方など、友達の日記から良さを見つけて、学ぶことができるようにする。</p> | →                                |
| 3年     | <p><b>問題発見・解決能力</b></p> <p>自分の考えをもつ力</p> <p>比べる力</p>                                                                                                  | <p><b>あらゆる教科での必要な情報を抜き取る活動</b><br/>国語だけでなく算数、理科や社会などの教科においても必要な箇所に線を引く、情報を抜き出す、情報をもとに図にするなどの活動をしていく。</p> <p><b>2つのものの共通点・相違点を見つける活動</b><br/>必要な情報について自分で吟味できるようにする。</p>                          | →                                |
| 4年     | <p>他者と考えを交流する姿（共有）</p>                                                                                                                                | <p><b>国語辞典の活用</b><br/>学習活動の中で分からない言葉と出会った時に辞典を活用して調べる。</p> <p><b>記述式の宿題</b><br/>ある事柄に対して確かな自分の考えをもち、それを他者と交流する力を付ける。</p>                                                                         | →                                |
| 5年     | <p><b>問題発見・解決能力</b><br/>身近なものに興味・関心をもつ姿</p>                                                                                                           | <p><b>自主学习ノートの継続</b><br/>調べたことや考えたことを文章にまとめる経験の不足を補い、考えたことを表現する力を付ける。</p> <p><b>効果的な復習</b><br/>復習が必要な場면을的確に判断し、復習の機会を設けていく。</p>                                                                  | →                                |
| 6年     | <p>新たな問題を見つける姿</p> <p>既習の内容や学び方を活かす姿</p>                                                                                                              | <p><b>アウトプット型学習（「出す」）</b><br/>教科横断的につながりを意識した指導を行い、学びを関連付けて考える力を伸ばしていく。</p> <p><b>自ら課題発見→解決</b><br/>教師主導で学習を展開するのではなく、児童が主体となって学習を成立させる力を伸ばしていく。</p>                                             | →                                |
| 個別支援学級 | <p>知的障害学級</p> <p><b>問題発見・解決能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを持つ姿</li> <li>身近なものに興味・関心をもつ姿</li> <li>ひと・もの・ことに気付いて関わる姿</li> </ul> | <p><b>今できることを基にした支援</b></p> <p><b>本人に合わせた学習計画</b><br/>アセスメントを行ったうえで、指導計画を作成し、それに沿った指導を行う。</p>                                                                                                    | →<br>指導計画の見直しを行い、それぞれに合わせた指導を行う。 |
|        | <p>自閉症・情緒障害学級</p> <p><b>問題発見・解決能力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他者と考えを交流する姿</li> <li>人の話をしっかり聞く姿</li> <li>身近なものに興味・関心を持つ姿</li> </ul> | <p><b>今できることを基にした支援</b><br/>アセスメントを行ったうえで、指導計画を作成し、それに沿った指導を行う。</p> <p><b>交流級の流れを意識した学習計画</b><br/>交流級と連携し、実態に合わせて学習する。</p>                                                                       | →<br>指導計画の見直しを行い、それぞれに合わせた指導を行う。 |